

# 胃粘膜下層剥離術(ESD)を受けられる患者さんへ

月/日	入院1日目		/	/	/	/	/	/	
経過	手術当日(術前)	術後	術後1日目	術後2日目	術後3日目	術後4日目	術後5日目	術後6日目 退院可	
達成目標	手術について理解できる	消化管出血の症状がない・腹膜炎の症状がない			栄養摂取ができる・消化管出血の症状がない				
治療	基本的に午後に内視鏡手術を開始します。		術後に創部の観察や、貧血・出血等により内視鏡検査または緊急で止血術を行う場合があります。						
薬剤	入院当日の朝は絶食ですが、 <b>中止薬以外のお薬は必ず指示通り服用してください。内視鏡手術施行に影響する場合があります。</b> 入院時はお薬手帳を持参してください。 入院時より点滴を開始します。 3本の点滴と術後胃薬・止血剤の注射があります。		24時間持続点滴です。 朝、夕で胃薬の注射があります。 午前に止血剤の点滴があります。点滴は本日で終了です。		点滴なし。胃薬の内服が始まります。			内服は継続です。	
検査		終了後レントゲン撮影をして部屋に戻ります。	採血があります。		採血があります。		採血があります。		
活動 安静度	手術まで自由ですが、できるだけ病室・病棟でお過ごし下さい。	術後2時間はベッド上安静。(ポータブルトイレ可)その後はトイレ・洗面のみ移動可です。	トイレ・洗面のみ歩行可		病棟内自由		院内自由		
栄養 (食事)	絶食です。昼まで飲水は可です。	術後2時間経つまで飲水できません。	飲水のみ可 絶食		朝～食事開始流動食		基本的消化に良いお食事の提供となります		
清潔	体拭きは可能です。				シャワー可		入浴可		
排泄		術後2時間後はトイレ可	歩行開始後は制限なし		制限なし				
リハビリ	術後、必要時リハビリを行います								
説明	休業していた薬剤は術後に医師の指示にて再開します。退院時にお薬の処方があります。								
	手術後に主治医から説明があります。ご家族の方は電話にいつでも出られる状態で待機していただきます。		切除した検体の病理結果は約1週間かかります。退院時に結果が出ていれば説明する場合があります。退院後の再診日に結果説明を行う場合もあります。						基本的に10時退院です。
その他	治療時は眠くなる注射を使用します。	術直後から術後1日目まで心電図をつけます。			強い腹痛や下血、吐血があった場合はすぐに看護師にお知らせください。				

※入院期間や治療内容は現時点で予測されるもので、症状により変わります。

★手術日のご家族の院内待機は感染対策のためできません。主治医から経過についての連絡があります。電話に出られる状態にしておいてください。(基本、お電話での説明になります。対面での説明は行っておりません。対面での説明が必要な場合はお伝えいたします。)